

官報

號外 昭和二十年三月二十三日

明治二十五年三月三十一日
第三種郵便物認可

○第八十六回 衆議院議事速記録第十三號

昭和二十年三月二十二日(木曜日)

午後二時十五分開議

議事日程 第十二號

昭和二十年三月二十二日

午後一時開議

第一 昭和二十年法律第十八號中

改正法律案(昭和二十年度一般

會計歳出入ノ財源ニ充ツル等ノ爲

ノ公債發行ニ關スル件)(政府提

出) 第一讀會

第二 衆議院議員選舉法中改正法

律案(政府提出) 第一讀會

第三 戰時森林資源造成法案(本

院提出、貴族院同行)

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照

ノ爲茲ニ掲載ス)

一、政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ

如シ

(第二號)昭和十九年度歳入歳出總算

算追加案

(第三號)昭和二十年年度歳入歳出總算

算追加案

算追加案

(特第三號)昭和二十年年度特別會計歳入歳出豫算追加案

昭和二十年法律第十八號中改正法律

案(昭和二十年年度一般會計歳出入ノ財

源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關ス

ル件)

(以上三月二十一日提出)

一、議員ヨリ提出セラレタル質問主意

書左ノ如シ

朝鮮ニ縣廳並行政訴訟ノ途ヲ拓クニ

關スル質問主意書

提出者 手代木隆吉君

(以上三月二十一日提出)

一、昨二十一日議長ニ於テ擔任ヲ許可

シタル常任委員左ノ如シ

第七部選出豫算委員 濱地 文平君

第八部選出豫算委員 前田 善治君

第九部選出豫算委員 宮澤 裕君

一、昨二十一日委員長及理事互選ノ結

果左ノ如シ

軍事特別措置法案(政府提出)委員

委員長 津崎 尙武君

理事 藏 藏君 加藤 宗平君

沖 藏君

阪本 勝君 仲井閑宗一君
最上 政三君

○議長(岡田忠彦君) 是ヨリ會議ヲ開

キマス、日程第一、昭和二十年法律第

十八號中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キ

マス——津島大藏大臣

第一 昭和二十年法律第十八號中

改正法律案(昭和二十年年度一般

會計歳出入ノ財源ニ充ツル等ノ爲

ノ公債發行ニ關スル件)(政府提

出) 第一讀會

昭和二十年法律第十八號中改正法

律案

昭和二十年法律第十八號中左ノ通改

正ス

第一條中「九十一億九千四百九十萬

圓」ヲ「百十二億三千三百八十萬圓」ニ

改ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(國務大臣津島壽一君登壇)

○國務大臣(津島壽一君) 只今議題ト

ナリマシタ昭和二十年法律第十八號中

改正法律案ニ付キマシテ、提案ノ理由

ヲ説明致シマス

今回提出致シマシタ昭和二十年年度歳

入歳出總算豫算追加案第三號ニ計上致シ

マシタ經費ノ財源ト致シマシテハ、同

經費相當額ノ公債發行ヲ要スルノデア

リマス、是ガ爲ニハ同法第一條ニ規定

スル公債ノ發行限度ヲ増加スルノ必要

ガアリマスノデ、本法律案ヲ提出シタ

次第デゴザイマス、何卒御審議ノ上速

カニ協賛ヲ與ヘラレンコトヲ切望致ス

次第デゴザイマス(拍手)

○議長(岡田忠彦君) 本案ノ審査ヲ付

託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シ

マス

○小泉純也君 本案ハ議長指名十八名

ノ委員ニ付託シ、直チニ委員ヲ指名セ

ラレンコトヲ望ミマス

○議長(岡田忠彦君) 小泉君ノ動議ニ

御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認

メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、

委員ノ氏名ハ書記官ヲシテ報告致サセ

マス

(書記官朗讀)

昭和二十年法律第十八號中改正法律

案(昭和二十年年度一般會計歳出入ノ財

源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關ス

ル件)(政府提出)委員

池本甚四郎君 大島 寅吉君

大倉 三郎君 川 剛 隆君

柏原 幸一君 九鬼 紋七君

駒井 重次君 角 猪之助君

中 助松君 野本吉兵衛君

唐橋 重政君 松本治一郎君

宮澤 裕君 山口忠五郎君

矢部 藤七君 吉田 正君

小澤 治君 高野孫左衛門君

○議長(岡田忠彦君) 只今指名致シマ

シタ委員諸君ハ、本會議散會後第一委

員室ニ御參集ノ上、委員長及ビ理事ヲ

互選シ、引續キ審査セラレンコトヲ望

ミマス——日程第二、衆議院議員選舉

法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キ

マス、委員長ノ報告ヲ求メマス——委

員長山崎達之輔君

第二 衆議院議員選舉法中改正法

律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一衆議院議員選舉法中改正法律案

(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議

決被候此段及報告候也

昭和二十年三月二十一日

委員長 山崎達之輔

衆議院議長岡田忠彥殿

(山崎達之輔君登壇)

○山崎達之輔君 衆議院議員選舉法中改正法律案ノ委員會ノ經過ニ付キマシテ御報告申上ゲマス

本業ハ朝鮮及ビ臺灣ニ衆議院議員選舉制度ヲ施行致シマシテ、在住民ニ參政權ヲ附與シ、帝國國政ノ中樞ニ參ゼシメントスルモノデアリマシテ、憲法上劃期的重大立法デアルト同時ニ、日韓合邦及ビ領土以來、終始一貫一視同仁ノ御聖旨ニ副ヒ奉ランコトヲ念願トシテ、努力ヲ傾注シ來リマシタル我が統治ノ方式ニ、更ニ一新組元ヲ劃セントスルモノデアリマス、委員會ニ於キマシテハ問題ノ本質ニ鑑ミマシテ慎重審議ヲ奏ラシマシタガ、朝鮮及ビ臺灣同胞ノ皇國民トシテノ實質ノ向上顯著ナル今日、且ツハ現戰局下内外地一體戰爭完遂ニ邁進スル態勢ヲ整備スルノ

要緊切ナル此ノ秋ニ於キマシテ、本問題ノ解決ヲ見マスルコトハ、極メテ適切妥當ナリト云フコトニ全員ノ意見一致ヲ見タ次第デアリマス

是ヨリ案ノ内容等ニ付キマシテ質問應答ニ依ツテ明カトナリマシタ重要ナル二、三ノ點ニ付テ御説明ヲ致シマス、第一ハ案ノ内容ニ屬スルコトデアリマスガ、此ノ度選舉制度ヲ朝鮮、臺灣ニ施行スルニ當リマシテ、普通選舉ニ依ルベキカ或ハ制限選舉ノ方法ニ依ルベキカハ、第一ニ決セラルベキ問題デアリマス、朝鮮、臺灣ニ於ケル教育文化ノ點、又外地ニ於ケル地方議會ノ議員選舉ノ實情等カラ考ヘマシテ、此ノ際普通選舉ノ制ヲ採リマスルコトハ妥當デナイノデアリマスノデ、制限選舉ノ方法ニ依ルコトト相成ツテ居ルノデアリマス、制限選舉トスレバ資格條件ヲ如何ニ決定スルカト云フコトガ次に起ル問題デアリマスガ、本案ニ於キマシテハ直接國稅十五圓以上ト云フコトヲ選舉資格ト致シテアルノデアリマス、此ノ十五圓以上ト定メラレマシタル根據ハ、大體ニ於テ内地ノ選舉法ガ初メテ布カレマシタ當時、御承知ノヤウニ國稅十五圓ト相成ツテ居リマスル

コトガ有力ナル參考トナツテ居ルコトト存ジマス、次ニハ議員定數ノ問題デアリマス、議員定數ヲ如何ニ定ムベキカハ此ノ法案ニ於テ最モ重大デアリ、且又困難ナル問題デアリマス、本案ニ於テハ御承知ノヤウニ朝鮮二十三名、臺灣五名、合計二十八名トナツテ居リマス、此ノ議員數ノ算定ハ、一面ニ於テハ選舉區ノ立テ方トモ關聯シテ考ヘナケレバナリマセヌ、選舉區ハ種々ノ點カラ考察セラレマシテ、朝鮮ニ於テハ十三道各道ヲ以テ一選舉區トナシ、臺灣ニ於テハ各州ヲ以テ一選舉區ト致シテ居リマスル結果、朝鮮二十三選舉區、臺灣五選舉區ト相成ツテ居リマス、ソコ各選舉區ニ對シマシテ少クトモ一名ノ定數ハ割當テナケレバナリマセヌ、之ヲ人口トノ比較ニ於テ考ヘマスルト、朝鮮ニ於キマシテハ一選挙區百萬人ニ達セザル道ガ一ツアリマス、臺灣ニ於テ百萬人ニ達セザル州ガ一州アルノデアリマス、是等ニハ百萬未満デアリマスガ一名ハ當然配當シナケレバナラヌ、斯様ナ點カラ大體百萬ヲ以テ基準ト致シマシテ、百萬ヲ増ス毎ニ一人ヲ加ヘル、併シナガラ先ニ申シマシタヤウニ、百萬未満ノ選舉區二箇

所ニ對シテ一人ヲ認メテ居リマスル以上ハ、而シテ其ノ選舉區ガ八十萬或ハ九十萬ト云フ程度デアリマスカラ、百萬ヲ超エルコト八十萬ニ達シマスレバ、更ニ一名ヲ追加スル、斯様ナ基準ニ依ツテ算定致サレテ居ルノデアリマス、此ノ議員數ノ算定ハ選舉資格ニ付テ申シマシタト略々同様ノ理由ニ依リマシテ、各般ノ事情ヲ併セ考ヘラレマシタ結果、此ノ數字ニ到達致シテ居ルノデアリマス、初メテ選舉制度ヲ施行セラレル今日ニ於キマシテハ、妥當ナル算定ナリト認メラレルノデアリマス、殊ニ是ハマア偶然ト申セバ偶然デアリマスガ、之ヲ有權者數ト比例シテ考ヘテ見マスルト、朝鮮、臺灣ヲ通算致シマシテ、議員一人ニ對スル有權者數ガ三萬千乃至二千デアリマス、此ノ點ハ略々内地ノ比率モ同様デアリマス、此ノ點モ亦此ノ數字ヲ考ヘル上ニ於テ見逃スコトノ出來ナイ數字デアリマス、次ニハ選舉運動デアリマス、選舉運動ニ付キマシテハ委員會ニ於キマシテモ内地ノ選舉法ガ可ナリニ煩瑣デ、此ノ煩瑣ナル選舉法規ヲ臺灣、朝鮮ニ適用致スト云フコトハ可ナリ實情ニ遠ザカル嫌ヒハナイカト云フコトハ種々論議セラレタル點デアリマス、併

シナガラ内地ノ選舉法煩瑣デアリ以不適當ト思ハレルヤウナコトハ、實ハ内地ノ選舉自體ニ於テモ感ゼラレテ居ルコトデアリマスカラ、ソレ等ノ改正ハ他日ニ譲ルノ外ハナイ、此ノ際トシテハ朝鮮、臺灣ノ實情ニ照シテ、何トシテモ現行選舉法其ノ儘ヲ以テイクナイ部分ダケニ付テ特例ヲ設ケテ置クト云フ方法ニ依ルノ外ハナイ、斯様ナ意味ニ於テ、例ヘバ選舉委員或ハ選舉ニ從事スル勞務者、選舉費用、斯様ナ點ニ付テハ朝鮮、臺灣ニ付テ勅令ヲ以テ例外ノ規定ヲ設ケルゴトト相成ツテ居ルノデアリマス、唯併シナガラ此ノ選舉運動ニ關スルコトハ、多クハ行政命令ニ依ツテ規定セラレルコトガ多イノデアリマスカラ、命令事項ニ屬スルコトハ、出來得ル限り現地ノ實情ニ即スルヤウニ、十分ノ留意ヲ以テ當ラレルコトガ必要デアルト云フコトヲ、委員會ニ於テモ篤ト政府ニ注意ヲ喚起致シマシテ、政府モ之ニ同意ヲ表セラレテ居ルノデアリマス、本法施行ノ時期デアリマスガ、法案ニハ勅令ヲ以テ其ノ時期ヲ定メルト云フコトニ相成ツテ居リマス、是ハ立法トシテハ當然デアラウト思ヒマスガ、其ノ趣旨ハ次ノ總選舉ヲ行フ時ニ朝鮮、臺灣ニ之ヲ行フ

ト云フコトヲ目途トシテ、諸般ノ準備ヲ進メルト云フ意味ニ諒承致シテ居ルノデアリマス、是等ガ本案ノ内容ニ關スル重要ナル點デアリマス

次ニハ此ノ法案ニ關聯致シマシタル重要ナル二、三ノ問題ニ付テ御説明ヲ致シマス、第一ハ内外地法域ノ撤廢ヲスルヤ否ヤノ問題デアリマス、隨テ現ニ認メラレテ居リマス朝鮮總督ノ持ツ制令、臺灣ノ律令、斯様ナ制度ニ付テハ、苟クモ議會ニ兩外地ヨリ選出セラ

レタル議員ガ構成員トシテ参加スルコトトナル以上、此ノ制度ヲ撤廢スベキコトハ當然ノ歸結デアリマス、併シナガラ統治ノ上ニ種々ノ必要モ存スルコトヲ認メナケレバナリマセヌデ、是等ハ十分政府ニ於テハ只今申上ゲマシタヤウナ方針ヲ以テ、出來ルダケ其ノ趣旨ニ副フヤウニ諸般ノ經過ノ方法等ヲ考究致シテ參リタイト云フ言明ガアツタデアリマス、次ハ司法統一ノ問題デアリマス、ヤハリ法域ノ問題ト同様、將來ニ於キマシテハ内地外地ニ於ケル法權ノ統一ハ當然實現セナケレバナリマセヌ、隨テ裁判所構成法或ハ訴訟法等モ全面的ニ朝鮮、臺灣ニ施行セラレルコトトナルベキコトハ當然デアリマスガ、是モ現實ノ實情ニ即シマシテ、經

過ノ方法等ハ十分慎重ナル考慮ヲ拂ツテ、サウシテ目的ニ向ツテ漸次歩ヲ進メテ行キタイト云フ言明ガアツタノデアリマス、次ハ自治制度ノ問題デアリマス、苟クモ議會ニ議員ヲ送ルコトトナル以上、今日ノ朝鮮、臺灣ノ自治制度ニハ相當檢討ヲ加ヘナケレバナラヌコトハ、是亦明瞭ナコトデアリマス、之

ニ對シマシテモ政府ハ十分留意ヲ加ヘテ、サウシテ自治制度ノ改善ニ努力致シタイト云フコトヲ言明致シテ居リマス、更ニ政治以外ノ處遇改善ニ付キマシテモ、委員會ニ於テハ十分ノ質疑ヲ致シマシタガ、是亦政府ニ於キマシテモ出來得ル限りノ注意ヲ拂ツテ居ルヤウニ認メラレマシテ、既ニ改善ヲ實施シタル案件モ少カラナイノデアリマス

以上ハ案ノ内容及ビ關聯問題ノ概要ヲデゴザイマスルガ、一委員ヨリ、本案ノ重大性ニ顧ミ、政府ハ適當ノ時期ニ之ニ伴フ嚴肅ナル特殊措置ヲ講ズルノ用意アリヤト云フ質問ニ對シマシテ、小磯總理大臣ヨリ「根本趣旨ハ内外地及ビ中外ニ宣明シ、國民全般ニ了得セシメ、憲政ノ運用上適切ヲ期スルノ要緊切ナリト考ヘマス、隨ヒマシテ之ニ關シ、嚴肅ニシテ必要ナル萬般ノ措置ヲ講ジタイ所存デアリマス」ト言明セラ

レタノデアリマス、更ニ委員會ニ於キマシテハ、朝鮮、臺灣同胞ノ統後ニ於ケル目録マシキ活躍ハ申スニ及バズ、第一線ニ於ケル勇戰奮闘、殊ニ盡忠報國、悠久ノ大義ニ生キントスル尊キ數

數ノ事例ニ付キマシテモ、當局ノ詳細ナル説明ヲ聽取致シマシテ、感激洵ニ新タナルモノガアツタノデアリマス

斯クテ委員會ハ今回ノ重大立法ニ依リマシテ、朝鮮、臺灣同胞諸君ガ帝國議政ノ府ニ參ズルノ矜持ヲ以テ、愈々皇國民タル自覺ヲ深メ、益々忠誠心ヲ振起致シマシテ、眞ニ内外地渾然一體、苛烈ナル戰列ニ立ツテ、聖業完遂ニ邁進スベシトスル強キ期待ノ下ニ、委員會ハ大體ノ審議ヲ終リ、討論ニ入りマシテ、多田滿長君ヨリ原案賛成ノ意見陳述ガアリ、採決ノ結果、滿場一致ヲ以テ可決致シタ次第デアリマス、之ヲ以テ私ノ御報告ト致シマス(拍手)

○議長(岡田忠彦君) 本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○小泉純也君 直チニ本案ノ第二讀會

ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(岡田忠彦君) 小泉君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ議案全部ヲ議題ト致シマス

衆議院議員選舉法中改正法律案 第二讀會(確定議)

○議長(岡田忠彦君) 別ニ御發議モアリマセヌ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決確定致シマシタ(拍手)

○小泉純也君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此ノ際政府提出軍事特別措置法案ヲ議題トナシ、委員長ノ報告ヲ求メ其ノ審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長(岡田忠彦君) 小泉君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ

軍事特別措置法案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス

委員長津崎尙武君

軍事特別措置法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一軍事特別措置法案(政府提出) 右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和二十年三月二十二日

委員長 津崎 尙武

衆議院議長岡田忠彦殿

〔津崎尙武君登壇〕

○津崎尙武君 只今緊急上程セラレマシタ軍事特別措置法案ノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告申上ゲマス

戰局ノ苛烈ニナルニ連シ、最近空襲ハ頻繁ニナリ、將ニ敵ハ本土上陸ヲ企圖シテ來寇スルノデハナイカト思ハレテ居ル今日デゴザイマス、此ノ秋ニ當リマシテ國土ノ防衛ヲ完全ニスル爲ニ本法案ノ提出セラレマシタコトハ、昨日陸軍大臣ヨリ詳細ニ説明ガアツタ通りデゴザイマス、隨テ私ハ此ノ法案ノ内容ハ今日申シマセヌガ、昨日本會議終了後直チニ委員會ヲ開キマシテ質疑ヲ致シマシテ、更ニ本日午前カラ午後ニ互リマシテ質疑ヲ繼續致シタノデアリマス、其ノ中デ御參考ニナルベキニ、三ノコトヲ此ノ際申上ゲルニトテ適當

ト思ヒマスカラ、暫ク御聽キテ願ヒタイト思ヒマスガ、何分ニモ戦局ガ極メテ重大ナル、隨テ此ノ法案自體ガ國家ノ爲ニ重大ナル法案ナルト共ニ、國民ノ權利義務ニ關スル重要ナル法案デアリマス爲ニ、委員諸君ノ質疑モ相當ニ眞劍ナモノガアリマシタ、其ノ中デニ、三ノコトヲ申シマス、本案ノ案自體ハ宜シトシテ、此ノ法ヲ運用スル上ニ於テ間違ヒガアツテハ困ル、其ノ運用ニ付テ十分ノ注意ヲシテ貰ヒタイ、又之ヲ運用スル上ニ於テ責任者ヲハツキリシテ貰ヒタイト云フヤウナ希望ガアリマシタ、即チ中央ニ於テハ其ノ運用ニ付テ間違ヒノナイ方針ガアリマシテモ、地方ノ出先ニ於テキマシテハ、直接事ニ當ル人ガ、動モスレバ、或ル範圍ヲ逸脱シタ行爲ニ出デテ國民ノ迷惑ヲ醸シ、隨テ仕事ノ進行ヲ妨グルヤウナコトガ往々世間ニアルカラシテ、斯クノ如キコトハ十分ノ注意ヲ願ヒタイト云フコトニ對シマシテハ、當局トシテモ其ノコトヲ往々認メルカラ、之ニ關シテハ能ク注意スルト云フ答ヘデアリマシタ、ソレカラ此ノ運用ニ付キマシテハ、本法ノ責任ハ陸海軍大臣ニアルガ、運用ニ付キマシテハ或ハ軍管區司令官其ノ他ノ官廳ニ委任シテヤルノデ	アルガ、實際ノ仕事ハ地方長官ヲ主トシテ、サウシテ地方長官ノ下ニ於ケル市町村長ガ、實際ノ仕事ニ關レテ行クノデアルカラ、出來ルダケ地方長官並ニ市町村長ニ責任ヲ持タシテヤルガ宜イデハナイカト云フ質問ニ對シテ、政府ノ方針モ其ノ通りデアルト云フ答ヘデゴザイマシタ、次ニ補償ノ問題デアリマスガ、是モ動モスレバ中央ノ意圖ト地方ノ現地ノ當局者ノナス所ガ齟齬スルコトガ從來多イ、是ハ軍ノ仕事デアル、勿論軍ノ仕事デ國家ノ大事ナ仕事デアアルカラ、國民ハ何事モ聽キマス、何事モ聽クガ故ニ、唯地方ノ下級ノ人達ガ國民ニ過ギタル強制ヲスル、又ソレニ對シテ少シク質ス所ガアレバ非國民呼バハリヲスルヤウナコトガアツテ、國民ト軍トノ間ヲ自然ニ離間スルヤウナコトガアツテハ由々シキコトデアアルカラ、十分ニ此ノ點ヲ注意ヲ願ヒタイト云フコトニ對シテ、ソレモ諒承セラレタノデゴザイマス、尙ホ此ノ補償ニ付テモ價格ノ點ナドガ、今申シタコトデアリマスガ、其ノ點モ十分ニ考慮ノ上ニ國民ニ迷惑ヲ掛ケナイヤウニ致スト云フコトデゴザイマシタ、ソレカラ此ノ仕事ヲ實行スル上ニ於テキマシテ一定ノ地區ガアルノデアリマス、其ノ	地區ハ秘密會ニ於テ戰局ノ現状見透シ、サウ云フコト共ニ、當局ノ率直ナル説明ガアリマシタ爲ニ、委員モ之ヲ諒承致シタノデゴザイマスガ、唯之ヲ實行スル上ニ於テキマシテ、其ノ築城其ノ他ノ工事ヲ施行セラル、地方デアリマシテモ、唯徒ラニ國民ヲシテ不安ヲ醸サシメルガ如キコトハ宜シクナイ、農民ハ殊ニ土地ニ愛著スルモノデアアル、自分ノ國土ガ敵ニ侵サレヤウトスル時デアリマシテモ、農民ハ其ノ土地ニ踏止マツテ、サウシテ農業其ノ他ノ生産ニモ精進シテ、國家ニ報イタイト云フ熱意ガアルノデアアルガ、ソレヲ唯徒ラニ恐怖セシメテ遠ザケルト云フヤウナコトハ慎シデハドウカト云フコトデアリマスガ、ソレニ對シテモ政府ハ最小限度ニ其ノコトハ止メテ、出來ルダケ今開ハレタヤウナコトニ應ズル方針デアルト云フ答ヘデゴザイマシタ、斯様ナコトニ付キマシテ色々質疑應答ガ重ネラレマシタガ、尙ホモウ一ツ御參考ノ爲ニ申シタイコトハ、防衛隊ノ組織シテハドウカト云フコトニ對シテハ、政府ドシテハ其ノ防衛隊組織ニ對シテ、近ク實現スル準備ガアルト云フコトデゴザイマシタ、隨テ之ト關聯致シマスル武器ノ問題デアリマス、竹槍ノミヲ以テハイ	カマデハナイカ、何ウ民間ニモ武器ヲ與ヘルコトヲシテ貰ヒタイト云フ希望ニ對シマシテハ、簡易兵器ヲ造ル用意ガアル、斯ウ云フコトデゴザイマシタ、是ハ恐ラク何處ノ地方デモ希望セラル、コトデアリマスガ、政府トシテハ其ノ用意ガアルト云フ答ヘデアリマシタカラ、御諒承ヲ願ツテ置キマス、斯様ナ質問ノ外ニ重大ト思ハレマシタコトハ、必勝ノ信念ヲ以テ行ケト何年カ當ハンテ居ル、必勝ノ信念ヲ以テ行クニ致シマシテモ、最近ノ戦局ハ唯必勝ノ信念デ行ケト言ツテモ國民ハ行クコトガ出來ナイヤウナ氣ガスル、抽象的ニ必勝ノ信念デ行ケト言ハレテモイカヌデハナイカ、必勝ノ具體的ノ方策ヲ、モウ少シ國民ニ知ラシメル必要ガアリハセスカト云フ間デアリマシタ、之ニ對シマシテハ過日此ノ席デ陸軍大臣ガ御説明ニナツタコトモアリマスガ、兎ニ角本法ニ關シテハ敵ガ本土上陸ヲ企圖シテ來ルナラバ、之ヲ海上ニ於テ撃ツ、其處モ又突破シテ進攻スルモノガアルナラバ、水際ニ於テ之ヲ撃滅スル、又萬一其ノ幾分ガ上陸スルコトガアツタナラバ、陸上ニ於テ撃滅スル人員ト火器ト、サウ云フモノノ用意ハ十分デアアル、ダガ尙ホ其ノコトノ爲ニ	ハ築城シ致シテ防備ヲ十分ニスル必要ガアルカラ、本案ニ依ツテ此ノコトヲ實行シタイト云フコトデゴザイマシタ、ソコデ一委員ノ質問ノ中ニ、此ノ戦局ガ今日ニ及ビマシテ、國民ガドウ云フ氣持デ居ルカト言ヘバ、今ヤ「ゲイトル」ヲ卷イテ何時デモ駆出スダケノ用意ハシテ居ルンダ、シテ居ルンダガ、ソコニハ正シク強キ號令ヲ希望シテ居ルノデアアル、今日ハ、國家ガ技ニ及ンデハ國民ノ人氣ヲ取ル必要モナイ、又餘リニ事ヲ考ヘ過ギテ時ヲ逸スルコトモ探ラヌ所デアアル、願クハ正シク強キ號令ヲ掛ケテ、サウシテ國民ガ一丸トナツテ此ノ敵ニ當ルコトヲシテ貰ヒタイト、斯ウ云フコトヲ希望セラレタノデゴザイマス、此ノ法案ガ極メテ重大ナダケニ短時間デアリマシタクレドモ、極メテ眞摯熱烈ナル質疑應答ガ繰返サレタノデゴザイマス、斯クノ如クシテ本日、本會議ノ少シ前マデ委員會ヲ開キマシテ、質疑終了ノ後討論ニ入りマシタ、仲井閑宗一君ガ翼政會ヲ代表シ、又松永壽雄君ガ護國同志會ヲ代表シテ、希望ヲ述べテ贊成ノ意ヲ表セラレタノデゴザイマス、斯クノ如クシテ委員會ハ全員一致ヲ以テ本案ヲ可決致シマシタ、此ノ段御報告申上ゲ
--	---	---	---	---

マス(拍手)

○議長(岡田忠彦君) 本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○小泉純也君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(岡田忠彦君) 小泉君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

軍事特別措置法案

第二讀會(確定議)

○議長(岡田忠彦君) 別ニ御發議モアリマセヌ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定致シマシタ(拍手)

○小泉純也君 此ノ際暫時休憩セラレンコトヲ望ミマス

○議長(岡田忠彦君) 小泉君ノ動議ニ

御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認メマス、仍テ暫時休憩致シマス

午後二時五十四分休憩

午後四時二十分開議

○議長(岡田忠彦君) 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス

○小泉純也君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此ノ際政府提出衆議院議員ノ補關選舉等ノ一時停止ニ關スル法律案及ビ昭和十八年法律第九十號中改正法律案ノ兩案ヲ一括議題トナシ、委員長ノ報告ヲ求メ其ノ審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長(岡田忠彦君) 小泉君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレンマシタ

衆議院議員ノ補關選舉等ノ一時停止ニ關スル法律案、昭和十八年法律第九十號中改正法律案、右兩案ヲ一括シテ第一讀會ヲ續キ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス

○議長(岡田忠彦君) 委員長櫻井兵五郎君

衆議院議員ノ補關選舉等ノ一時停止ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

昭和十八年法律第九十號中改正法律案(道府縣會議員等ノ任期延長ニ關スル件)(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

衆議院議員ノ補關選舉等ノ一時停止ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

昭和十八年法律第九十號中改正法律案(道府縣會議員等ノ任期延長ニ關スル件)(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一衆議院議員ノ補關選舉等ノ一時停止ニ關スル法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和二十年三月二十二日

委員長 櫻井兵五郎

衆議院議長岡田忠彦殿

報告書

一昭和十八年法律第九十號中改正法律案(道府縣會議員等ノ任期延長ニ關スル件)(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和二十年三月二十二日

委員長 櫻井兵五郎

員ノ補關選舉等ノ一時停止ニ關スル法律案外一件委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス

本委員會ハ去ル三月十八日第一回ノ委員會ヲ開會シ、委員長及ビ理事ノ互選ヲ致シマシタ所、委員長ニハ不肖私、理事ニハ南雲正朝君、田中好君、藤原雄次君、木下義介君、泉國三郎君ノ五氏ガ當選致サレマシタ、直チニ審議ニ入り、先ヅ政府ノ提案理由ノ説明ヲ求め、引續キ質疑ニ入ツタ次第アリマス、案ノ内容ハ衆議院議員選舉法第七十五條及ビ第七十九條ノ規定ニ依ル選舉ハ、現任衆議院議員ノ在任期間中ハ之ヲ行ハズ、又衆議院議員ノ數、衆議院議員選舉法別表ニ掲グル各選舉區ノ議員數ヲ合算シタル數ノ三分ノ二ニ滿タザルニ至リタル時ハ、是ガ補充ノ爲メ選舉ヲ行フ、又今一件ハ昭和十八年法律第九十號中改正法律案アリマシテ、即チ其ノ内容ハ道府縣會議員、市町村會議員、東京都ノ區ノ區會議員等ノ任期ヲ更ニ延長シ、其ノ期間中は等ノ議員ノ補關選舉及ビ再選舉ヲ停止スル爲メ、昭和十八年法律第九十號中改正法律案トスルモノデアリマス、政府ノ提案理由ノ説明ハ、固ヨリ好シデス、如キ提案ヲナサントスルモノデ

ハナイガ、併シ現下ノ情勢ニ顧ミ洵ニ已ムラ得ザルモノガアルガ爲デアルトノコトデアリマシタ

之ニ對スル質疑ト致シマシテハ、議員ノ定數ハ衆議院ノ職務機能ヲ發揮スル爲メ、並ニ帝國憲法ニ所謂民意代表ノ趣旨ヲ貫徹スル爲メ、必要且ツ適正ナル員數ヲ定メタルモノナルヲ以テ、一名ノ關員ヲ生ジタル場合ニ於テモ補充ノ選舉ヲ行フ原則トスルノデア

ル、原則ニ對スル政府ノ信念ハドウカ、又議員數ガ定員ノ三分ノ二未滿トナツタ場合ニ限リ、補充選舉ヲ行フト云フ趣旨ヲ誤解シテ、定員減少ノ意圖ヲ潛在スルヤノ疑ヒヲ生ズル惧レナキヤ如何、更ニ 天皇ノ大權ニ基キ、衆議院ノ解散セラレタル場合、全國ニ亙ル總選舉ニ對シテ如何ナル方策ヲ執ルヤ等ノ質疑ニ對シマシテ、内務大臣ヨリ戰爭ガ如何ニ苛烈ノ場合ト雖モ議會ノ運営ヲ缺クコトハ出來マセヌ、又隨テ定員ノ三分ノ二ヲ缺ク場合ハ選舉ヲ行ヒ、解散ノ場合ニ於キマシテモ無論選舉ヲ行フ次第デアリマス、唯現下ノ事態ニ鑑ミ此ノ程度已ムラ得ズト考ヘタ特別措置デアリ、原則ニ對スル信念ニ毫モ動搖アルモノデハナイト云フ説明ガアリマシタ、尙ホ本案ハ申スマ

ハナイガ、併シ現下ノ情勢ニ顧ミ洵ニ已ムラ得ザルモノガアルガ爲デアルトノコトデアリマシタ

之ニ對スル質疑ト致シマシテハ、議員ノ定數ハ衆議院ノ職務機能ヲ發揮スル爲メ、並ニ帝國憲法ニ所謂民意代表ノ趣旨ヲ貫徹スル爲メ、必要且ツ適正ナル員數ヲ定メタルモノナルヲ以テ、一名ノ關員ヲ生ジタル場合ニ於テモ補充ノ選舉ヲ行フ原則トスルノデア

ル、原則ニ對スル政府ノ信念ハドウカ、又議員數ガ定員ノ三分ノ二未滿トナツタ場合ニ限リ、補充選舉ヲ行フト云フ趣旨ヲ誤解シテ、定員減少ノ意圖ヲ潛在スルヤノ疑ヒヲ生ズル惧レナキヤ如何、更ニ 天皇ノ大權ニ基キ、衆議院ノ解散セラレタル場合、全國ニ亙ル總選舉ニ對シテ如何ナル方策ヲ執ルヤ等ノ質疑ニ對シマシテ、内務大臣ヨリ戰爭ガ如何ニ苛烈ノ場合ト雖モ議會ノ運営ヲ缺クコトハ出來マセヌ、又隨テ定員ノ三分ノ二ヲ缺ク場合ハ選舉ヲ行ヒ、解散ノ場合ニ於キマシテモ無論選舉ヲ行フ次第デアリマス、唯現下ノ事態ニ鑑ミ此ノ程度已ムラ得ズト考ヘタ特別措置デアリ、原則ニ對スル信念ニ毫モ動搖アルモノデハナイト云フ説明ガアリマシタ、尙ホ本案ハ申スマ

ハナイガ、併シ現下ノ情勢ニ顧ミ洵ニ已ムラ得ザルモノガアルガ爲デアルトノコトデアリマシタ

之ニ對スル質疑ト致シマシテハ、議員ノ定數ハ衆議院ノ職務機能ヲ發揮スル爲メ、並ニ帝國憲法ニ所謂民意代表ノ趣旨ヲ貫徹スル爲メ、必要且ツ適正ナル員數ヲ定メタルモノナルヲ以テ、一名ノ關員ヲ生ジタル場合ニ於テモ補充ノ選舉ヲ行フ原則トスルノデア

ル、原則ニ對スル政府ノ信念ハドウカ、又議員數ガ定員ノ三分ノ二未滿トナツタ場合ニ限リ、補充選舉ヲ行フト云フ趣旨ヲ誤解シテ、定員減少ノ意圖ヲ潛在スルヤノ疑ヒヲ生ズル惧レナキヤ如何、更ニ 天皇ノ大權ニ基キ、衆議院ノ解散セラレタル場合、全國ニ亙ル總選舉ニ對シテ如何ナル方策ヲ執ルヤ等ノ質疑ニ對シマシテ、内務大臣ヨリ戰爭ガ如何ニ苛烈ノ場合ト雖モ議會ノ運営ヲ缺クコトハ出來マセヌ、又隨テ定員ノ三分ノ二ヲ缺ク場合ハ選舉ヲ行ヒ、解散ノ場合ニ於キマシテモ無論選舉ヲ行フ次第デアリマス、唯現下ノ事態ニ鑑ミ此ノ程度已ムラ得ズト考ヘタ特別措置デアリ、原則ニ對スル信念ニ毫モ動搖アルモノデハナイト云フ説明ガアリマシタ、尙ホ本案ハ申スマ

ハナイガ、併シ現下ノ情勢ニ顧ミ洵ニ已ムラ得ザルモノガアルガ爲デアルトノコトデアリマシタ

之ニ對スル質疑ト致シマシテハ、議員ノ定數ハ衆議院ノ職務機能ヲ發揮スル爲メ、並ニ帝國憲法ニ所謂民意代表ノ趣旨ヲ貫徹スル爲メ、必要且ツ適正ナル員數ヲ定メタルモノナルヲ以テ、一名ノ關員ヲ生ジタル場合ニ於テモ補充ノ選舉ヲ行フ原則トスルノデア

ル、原則ニ對スル政府ノ信念ハドウカ、又議員數ガ定員ノ三分ノ二未滿トナツタ場合ニ限リ、補充選舉ヲ行フト云フ趣旨ヲ誤解シテ、定員減少ノ意圖ヲ潛在スルヤノ疑ヒヲ生ズル惧レナキヤ如何、更ニ 天皇ノ大權ニ基キ、衆議院ノ解散セラレタル場合、全國ニ亙ル總選舉ニ對シテ如何ナル方策ヲ執ルヤ等ノ質疑ニ對シマシテ、内務大臣ヨリ戰爭ガ如何ニ苛烈ノ場合ト雖モ議會ノ運営ヲ缺クコトハ出來マセヌ、又隨テ定員ノ三分ノ二ヲ缺ク場合ハ選舉ヲ行ヒ、解散ノ場合ニ於キマシテモ無論選舉ヲ行フ次第デアリマス、唯現下ノ事態ニ鑑ミ此ノ程度已ムラ得ズト考ヘタ特別措置デアリ、原則ニ對スル信念ニ毫モ動搖アルモノデハナイト云フ説明ガアリマシタ、尙ホ本案ハ申スマ

ハナイガ、併シ現下ノ情勢ニ顧ミ洵ニ已ムラ得ザルモノガアルガ爲デアルトノコトデアリマシタ

之ニ對スル質疑ト致シマシテハ、議員ノ定數ハ衆議院ノ職務機能ヲ發揮スル爲メ、並ニ帝國憲法ニ所謂民意代表ノ趣旨ヲ貫徹スル爲メ、必要且ツ適正ナル員數ヲ定メタルモノナルヲ以テ、一名ノ關員ヲ生ジタル場合ニ於テモ補充ノ選舉ヲ行フ原則トスルノデア

ハナイガ、併シ現下ノ情勢ニ顧ミ洵ニ已ムラ得ザルモノガアルガ爲デアルトノコトデアリマシタ

之ニ對スル質疑ト致シマシテハ、議員ノ定數ハ衆議院ノ職務機能ヲ發揮スル爲メ、並ニ帝國憲法ニ所謂民意代表ノ趣旨ヲ貫徹スル爲メ、必要且ツ適正ナル員數ヲ定メタルモノナルヲ以テ、一名ノ關員ヲ生ジタル場合ニ於テモ補充ノ選舉ヲ行フ原則トスルノデア

ル、原則ニ對スル政府ノ信念ハドウカ、又議員數ガ定員ノ三分ノ二未滿トナツタ場合ニ限リ、補充選舉ヲ行フト云フ趣旨ヲ誤解シテ、定員減少ノ意圖ヲ潛在スルヤノ疑ヒヲ生ズル惧レナキヤ如何、更ニ 天皇ノ大權ニ基キ、衆議院ノ解散セラレタル場合、全國ニ亙ル總選舉ニ對シテ如何ナル方策ヲ執ルヤ等ノ質疑ニ對シマシテ、内務大臣ヨリ戰爭ガ如何ニ苛烈ノ場合ト雖モ議會ノ運営ヲ缺クコトハ出來マセヌ、又隨テ定員ノ三分ノ二ヲ缺ク場合ハ選舉ヲ行ヒ、解散ノ場合ニ於キマシテモ無論選舉ヲ行フ次第デアリマス、唯現下ノ事態ニ鑑ミ此ノ程度已ムラ得ズト考ヘタ特別措置デアリ、原則ニ對スル信念ニ毫モ動搖アルモノデハナイト云フ説明ガアリマシタ、尙ホ本案ハ申スマ

ハナイガ、併シ現下ノ情勢ニ顧ミ洵ニ已ムラ得ザルモノガアルガ爲デアルトノコトデアリマシタ

之ニ對スル質疑ト致シマシテハ、議員ノ定數ハ衆議院ノ職務機能ヲ發揮スル爲メ、並ニ帝國憲法ニ所謂民意代表ノ趣旨ヲ貫徹スル爲メ、必要且ツ適正ナル員數ヲ定メタルモノナルヲ以テ、一名ノ關員ヲ生ジタル場合ニ於テモ補充ノ選舉ヲ行フ原則トスルノデア

ル、原則ニ對スル政府ノ信念ハドウカ、又議員數ガ定員ノ三分ノ二未滿トナツタ場合ニ限リ、補充選舉ヲ行フト云フ趣旨ヲ誤解シテ、定員減少ノ意圖ヲ潛在スルヤノ疑ヒヲ生ズル惧レナキヤ如何、更ニ 天皇ノ大權ニ基キ、衆議院ノ解散セラレタル場合、全國ニ亙ル總選舉ニ對シテ如何ナル方策ヲ執ルヤ等ノ質疑ニ對シマシテ、内務大臣ヨリ戰爭ガ如何ニ苛烈ノ場合ト雖モ議會ノ運営ヲ缺クコトハ出來マセヌ、又隨テ定員ノ三分ノ二ヲ缺ク場合ハ選舉ヲ行ヒ、解散ノ場合ニ於キマシテモ無論選舉ヲ行フ次第デアリマス、唯現下ノ事態ニ鑑ミ此ノ程度已ムラ得ズト考ヘタ特別措置デアリ、原則ニ對スル信念ニ毫モ動搖アルモノデハナイト云フ説明ガアリマシタ、尙ホ本案ハ申スマ

ハナイガ、併シ現下ノ情勢ニ顧ミ洵ニ已ムラ得ザルモノガアルガ爲デアルトノコトデアリマシタ

之ニ對スル質疑ト致シマシテハ、議員ノ定數ハ衆議院ノ職務機能ヲ發揮スル爲メ、並ニ帝國憲法ニ所謂民意代表ノ趣旨ヲ貫徹スル爲メ、必要且ツ適正ナル員數ヲ定メタルモノナルヲ以テ、一名ノ關員ヲ生ジタル場合ニ於テモ補充ノ選舉ヲ行フ原則トスルノデア

ル、原則ニ對スル政府ノ信念ハドウカ、又議員數ガ定員ノ三分ノ二未滿トナツタ場合ニ限リ、補充選舉ヲ行フト云フ趣旨ヲ誤解シテ、定員減少ノ意圖ヲ潛在スルヤノ疑ヒヲ生ズル惧レナキヤ如何、更ニ 天皇ノ大權ニ基キ、衆議院ノ解散セラレタル場合、全國ニ亙ル總選舉ニ對シテ如何ナル方策ヲ執ルヤ等ノ質疑ニ對シマシテ、内務大臣ヨリ戰爭ガ如何ニ苛烈ノ場合ト雖モ議會ノ運営ヲ缺クコトハ出來マセヌ、又隨テ定員ノ三分ノ二ヲ缺ク場合ハ選舉ヲ行ヒ、解散ノ場合ニ於キマシテモ無論選舉ヲ行フ次第デアリマス、唯現下ノ事態ニ鑑ミ此ノ程度已ムラ得ズト考ヘタ特別措置デアリ、原則ニ對スル信念ニ毫モ動搖アルモノデハナイト云フ説明ガアリマシタ、尙ホ本案ハ申スマ

ハナイガ、併シ現下ノ情勢ニ顧ミ洵ニ已ムラ得ザルモノガアルガ爲デアルトノコトデアリマシタ

之ニ對スル質疑ト致シマシテハ、議員ノ定數ハ衆議院ノ職務機能ヲ發揮スル爲メ、並ニ帝國憲法ニ所謂民意代表ノ趣旨ヲ貫徹スル爲メ、必要且ツ適正ナル員數ヲ定メタルモノナルヲ以テ、一名ノ關員ヲ生ジタル場合ニ於テモ補充ノ選舉ヲ行フ原則トスルノデア

ル、原則ニ對スル政府ノ信念ハドウカ、又議員數ガ定員ノ三分ノ二未滿トナツタ場合ニ限リ、補充選舉ヲ行フト云フ趣旨ヲ誤解シテ、定員減少ノ意圖ヲ潛在スルヤノ疑ヒヲ生ズル惧レナキヤ如何、更ニ 天皇ノ大權ニ基キ、衆議院ノ解散セラレタル場合、全國ニ亙ル總選舉ニ對シテ如何ナル方策ヲ執ルヤ等ノ質疑ニ對シマシテ、内務大臣ヨリ戰爭ガ如何ニ苛烈ノ場合ト雖モ議會ノ運営ヲ缺クコトハ出來マセヌ、又隨テ定員ノ三分ノ二ヲ缺ク場合ハ選舉ヲ行ヒ、解散ノ場合ニ於キマシテモ無論選舉ヲ行フ次第デアリマス、唯現下ノ事態ニ鑑ミ此ノ程度已ムラ得ズト考ヘタ特別措置デアリ、原則ニ對スル信念ニ毫モ動搖アルモノデハナイト云フ説明ガアリマシタ、尙ホ本案ハ申スマ

ハナイガ、併シ現下ノ情勢ニ顧ミ洵ニ已ムラ得ザルモノガアルガ爲デアルトノコトデアリマシタ

之ニ對スル質疑ト致シマシテハ、議員ノ定數ハ衆議院ノ職務機能ヲ發揮スル爲メ、並ニ帝國憲法ニ所謂民意代表ノ趣旨ヲ貫徹スル爲メ、必要且ツ適正ナル員數ヲ定メタルモノナルヲ以テ、一名ノ關員ヲ生ジタル場合ニ於テモ補充ノ選舉ヲ行フ原則トスルノデア

ル、原則ニ對スル政府ノ信念ハドウカ、又議員數ガ定員ノ三分ノ二未滿トナツタ場合ニ限リ、補充選舉ヲ行フト云フ趣旨ヲ誤解シテ、定員減少ノ意圖ヲ潛在スルヤノ疑ヒヲ生ズル惧レナキヤ如何、更ニ 天皇ノ大權ニ基キ、衆議院ノ解散セラレタル場合、全國ニ亙ル總選舉ニ對シテ如何ナル方策ヲ執ルヤ等ノ質疑ニ對シマシテ、内務大臣ヨリ戰爭ガ如何ニ苛烈ノ場合ト雖モ議會ノ運営ヲ缺クコトハ出來マセヌ、又隨テ定員ノ三分ノ二ヲ缺ク場合ハ選舉ヲ行ヒ、解散ノ場合ニ於キマシテモ無論選舉ヲ行フ次第デアリマス、唯現下ノ事態ニ鑑ミ此ノ程度已ムラ得ズト考ヘタ特別措置デアリ、原則ニ對スル信念ニ毫モ動搖アルモノデハナイト云フ説明ガアリマシタ、尙ホ本案ハ申スマ

ハナイガ、併シ現下ノ情勢ニ顧ミ洵ニ已ムラ得ザルモノガアルガ爲デアルトノコトデアリマシタ

一四九

デモナク其ノ原則ヲ一時停止スル非常
特別措置デアリマスルガ爲ニ、其ノ前
提トナルベキ現下ノ非常特別ノ事態ニ
關シマシテモ、實然ノ起リマスコトハ
洵ニ必然ノ事柄デアリマシテ、此ノ點
ニ關シ實然應答ガ最も熱心且ツ眞摯ニ
展開サレタノデアリマス、今其ノ二、
三ノ點ヲ擧ゲマスレバ、即チ其ノ一ハ
戰災ニ依ル被害ノ最モ大ナリシ東京、
名古屋、大阪、神戸等ニ於ケル戰災者
救護ノ實際ハドウカ、又其ノ轉出、疎
開ノ問題ヲ如何ニ扱ヒ計畫シテ居ル
カ、食糧ノ問題ハ如何、衣料ノ問題ハ
如何、輸送ノ問題ハ如何、交通機關ニ
對スル武裝ノ要ナキヤ、又受入態勢ハ
如何等ノコトデアリマシタガ、之ニ對
シ内務大臣、運輸通信大臣等ヨリ、食
糧、衣料ニ對シテハ出ル方ニ於テ方途
ヲ盡シテ居ル、疎開ハ相當數ニ上ツテ
居ルガ、受入態勢ニ付テハ尙ホ整備ノ
要ガアル、運輸ハ人、家屋、工場等ニ
付テ計畫輸送ヲヤリタイ、交通機關ノ
武裝ハ固ヨリ必要デアル、又今後ハ歸
農、轉出スル者ニ對シテモ集團組織ヲ
以テ轉出セシメル必要ヲ感ジテ居ル、
次ニ第二點ト致シマシテハ、戰災地ニ於
ケル生産復活ノ問題ハ如何、現存工場
ノ疎開ノ問題ハ如何、又災害ニ依リ空
地トナツタ土地ハ現在無價值ノ狀態ニ

ナツテ居ルガ、國家ハ之ニ對シテ價格
記入ノ地券ヲ交付スルノ意ナキヤ等ノ
コトデアリマシタガ、之ニ對シマシテ
總理大臣ヨリ其ノ地券ノ交付ニ對シテ
ハ目下考慮中デアルトノ答辯ガアリ、
他ノ國務大臣及ビ政府委員ヨリ工場ノ
疎開ハ機關ニ關スル點モアルノデ之ヲ
公表ハシナイガ、併シ著々其ノ必要度
ニ於テ實行シツ、アル、又戰災地ノ生
産復活ニ付テハ、地下工場等、新構想
ニ基キ計畫ガ實行ノ緒ニ就キツ、アル
トノ答辯ガアリ、其ノ他食糧問題、防
衛問題ニ關シ、重要ナル質疑應答ガ交
ハサレタノデアリマス、而シテ本委員
會ノ孕ム問題ト致シマシテ、通ジテ委
員諸君ノ腦裡ニハ、本法案ノ内容ハ質
量共ニ議院本質ノ問題デアル、即チ是
ガ爲ニ當該地域並ニ國民ノ一部ハ、或
ル期間其ノ代表ヲ衆議院ニ失フ譯デア
ル、又衆議院ノ定員三分ノ一ノ空位ヲ
認ムルト云フガ如キコトモ洵ニ重大デ
アル、動モスレバ議會輕視ノ弊ヲ伴ハ
ベヤトノ懸念ヲ抱カレタノデアリマス
ガ、偶々政府近來ノ議會等ニ對スル態
度ニ關シ憂慮セラル、問題ガ將ミマシ
テ、爲ニ全委員諸君ノ懇談會ヲ重ネラ
ル、コト三回、其ノ結果ト致シ、委員
長ハ全委員ノ總意ヲ代表シテ、内閣總
理大臣ニ對シ左ノ質疑ヲナスコトナ

ツタノデアリマス
質疑、此ノ場合内閣ノ所信ヲ明瞭ニ
セラレタイ、先づ第一ハ只今本委員會
ガ審議ニ當ツテ居ル衆議院議員ノ補選
選舉等ノ一時停止ニ關スル法律案件ハ、
抑々衆議院構成上ノ本質ニ關スル重大
問題デアル、即チ是ガ爲ニ國民ノ一部
並ニ當該地域ハ、衆議院ニ於テ其ノ代
表ヲ失フコトナリ、觀念的ニハ三分
ノ一ノ空位ヲ認ムルコトナル、殊ニ
憲法上ノ精神カラ見テ、議會輕視ヲ疑
ハシムル由々シキ問題トモ思ハル、
固ヨリ政府ノ説明ハ、現下ノ情勢已ム
ヲ得ズトノコトデアルガ、併シ政府近
來ノ議會ニ對スル態度ニ鑑ミ、特ニ憂
慮セラル、コトガアリ、本法案ノ本質並
ニ憲法上ノ精神ニ照シ、今一應内閣ノ
見解ヲ明カニセラレタイ、次ニ近來内
閣ノ多忙ハ我々モ十分之ヲ察シテ居
ル、サレバコソ議會ハ凡ル工夫ヲ凝
シテ審議ヲ短縮シ、精神のニモ時間
的ニモ政府ニ協力シ、少々遺憾ノ點ガ
アツテモ自ラヲ忍ビ、以テ政府ノ行政
的機能發揮ヲシテ、萬全ヲ期サシムル
爲メ努力シテ居ル、サリナガラ其ノ認
容ノ態度ニモ自ラ限度ガアル、政府ガ
憲法ノ大精神ヲ忘レテ議會ヲ輕視スル
ガ如キ場合ニ於テハ、議會ハ斷ジテ忍
ブモノデハナイ、議會ハ 天皇ノ議會

デアリ、大御心ヲ議會ヲ通ジテ皇氏ニ
傳ヘルコトハ最も大ナル政治デア
ル(拍手)然ルニ政府近來ノ努メト態度ニ
於テ、右懸念ニ關シ遺憾ナシトセラル
ルヤ否ヤ、若シ不幸ニシテアリトスレ
バ、政府ハ此ノ際十分戒慎ノ意ヲ明カ
ニシ、今後ニ互ツテ萬全ヲ期ナリテサ
レタイ、右ニ關シ内閣總理大臣ヨリ特
ニ所信ヲ明瞭ニセラル、コトヲ要ムト
云フ意味ノ質問ヲ委員長ヨリ致シタノ
デアリマス、之ニ對シマシテハ小磯内
閣總理大臣ヨリ「當委員會ニ付託セラ
レテ居リマスル衆議院議員補選選舉等
一時停止ニ關スル法律案件ハ、時局柄已
ムヲ得ズト認メテ提出致シタ次第デア
リマシテ、決シテ帝國議會ヲ輕視致ス
ナドノコトハアリマセヌ、又政府ガ冤
角議會ヲ輕視スル風ガアルトノ御意見
デアリマス、政府ハ議會ヲ尊重致シテ
居ルノデアリマスガ、其ノ至ラザル點
ニ付テハ之ヲ十分ニ戒慎シ、更ニ將來
遺憾ナキヲ期シタイト存ジマス」トノ
答辯ガアリマシタ
而シテ委員會ノ會務ヲ重ネマスルコ
ト五回、本日正午質疑ヲ終了シ、午後
三時再開、討論ニ入りマシタ所、翼賛
政治會ヲ代表セラレマシテ木下義介
君、護國同志會ヲ代表セラレマシテ池
田正之輔君ヨリ、池田君ヨリハ左ノ聲

告ヲ附サレマシテ原案賛成ノ動議ガア
リマシタ、「聲告、現在ノ選舉法ハ地
域主義ニ立脚シテ居ルノデアアル、然ル
ニ本案ハ其ノ特定選舉地域ニ全議員ヲ
失フ場合ニ於テモ補選選舉ヲ行ハナイ
結果ヲ生ズルコトアリテ、此ノ點ハ現
行選舉法ノ根本精神ニ關シテ、一大不
安ヲ感ゼシメラレザルヲ得ナイノデア
リ、一步運用ヲ誤レバ議會ヲ輕視スル
ノ結果トナル、政府ハ宜シク憲法ノ精
神ニ恪循シテ本案ノ運営ニ當ラレンコ
トヲ警告ス」ト云フノデアリマス、採
決ノ結果議員一致ヲ以テ兩案トモ原案
ノ通り可決確定致シマシタ、右御報告
申上ゲマス(拍手)
○議長(岡田忠彦君) 兩案ノ第二讀會
ヲ開クニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認
メマス、仍テ兩案ノ第二讀會ヲ開クニ
決シマシタ
○小泉純也君 直チニ兩案ノ第二讀會
ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長
報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマ
ス
○議長(岡田忠彦君) 小泉君ノ動議ニ
御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認

メマス、仍テ直チニ兩案ノ第二議會ヲ
開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

中議院議員ノ補關連ノ一時停
止ニ關スル法律案

第二議會(權定改)

昭和十八年法律第九十號中改正法
律案(定官縣會議員等ノ任期延長
ニ關スル件) 第二議會(權定改)

○議長(岡田忠彦君) 別ニ御發議モア
リマセヌ、第三議會ヲ省略シテ、兩案
トモ委員長報告並リ可決權定致シマシ
タ

○小泉純也君 殘餘ノ日程ヲ延期シ、
明二十三日午後一時ヨリ本會議ヲ開ク
コトトシ、本日ハ是ニテ散會セラレン
ニトテ記シマス

○議長(岡田忠彦君) 小泉君ノ動議ニ
御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト記
シマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、
次會ノ議事日程ハ公報ヲ以テ通知致シ
マス、本日ハ是ニテ散會致シマス
午後四時四十分散會

